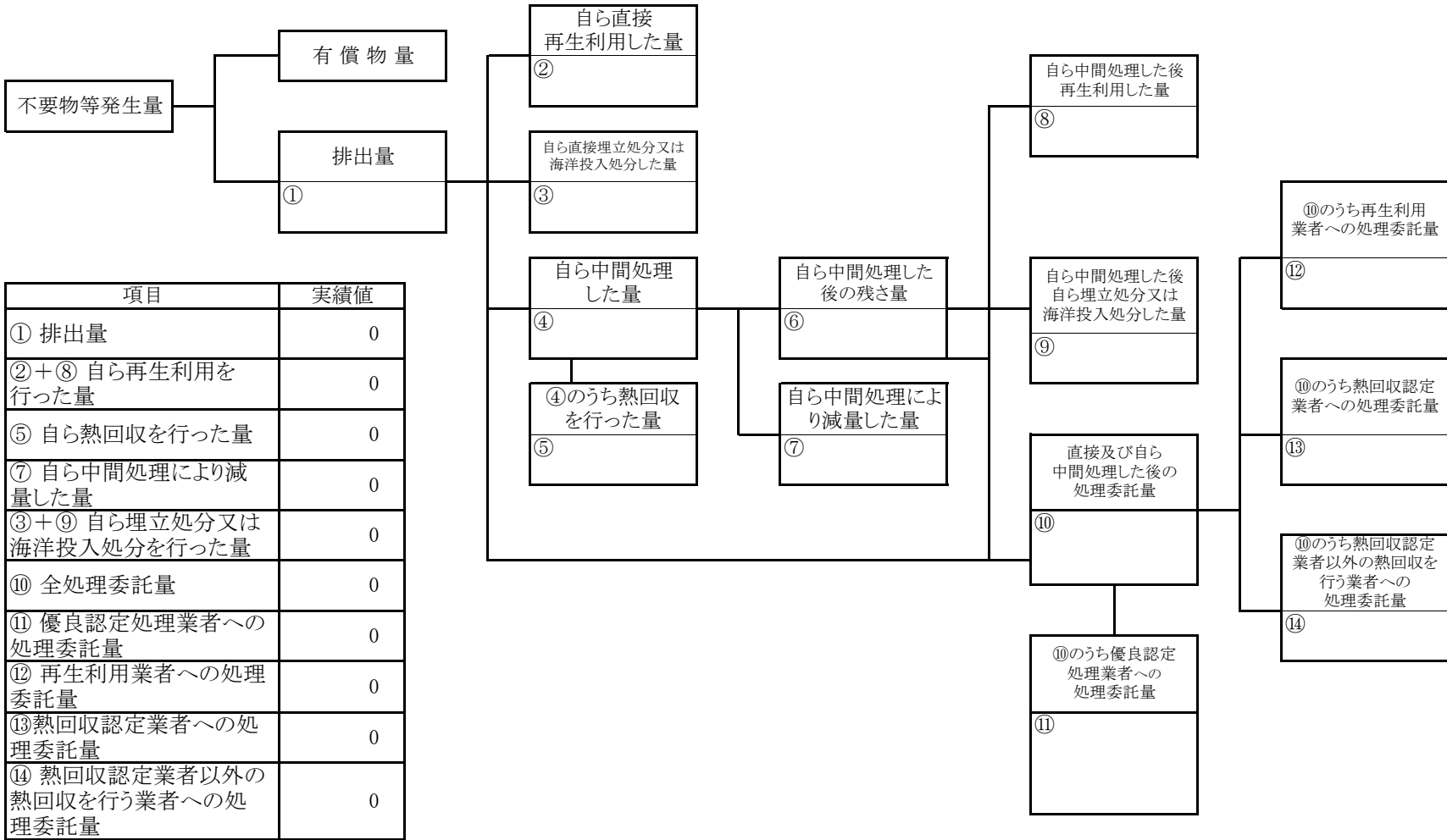


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
山梨県知事		7 年    6 月    28 日	
殿		提出者 住 所 富士吉田市下吉田4-12-38 氏 名 有 限 会 社    舟 久 保 取締役 舟久保三恵子 電話番号 0555-24-6506	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称		有限会社 舟久保	
事 業 場 の 所 在 地		山梨県富士吉田市下吉田4-12-38	
事 業 の 種 類		解体業	
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和6年4月1日～令和7年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排 出 量		1,381 t	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		400 t	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : )



項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 令和6年度実績

(kg)

産業廃棄物の種類	発生量	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	全処理委託量	再生利用業者への処理委託量
石綿含有産業廃棄物	2910			2910	2910
繊維くず	27190			27190	27190
燃えがら	8160			8160	8160
コンクリートくず	673890	300000		373890	373890
石膏ボード	113600			113600	113600
廃プラスチック類	28930			28930	28930
その他がれき類	2700			2700	2700
ガラス陶磁器くず	130			130	130
水銀使用製品	91			91	91
木くず	833230.5		50000	33230.5	33230.5